

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ウィザード	Lv.1:	メイジ	レベル	13
サポートクラス	セージ	Lv.1:	レンジャー	性別	女の子なんだねー
称号クラス				年齢	おばあちゃんなんだねー
種族	ヴァーナ			境遇	正体
出自 (効果)	前科者			目標	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	7	26	23	27	6	8
ボーナス	3	2	8	7	9	2	2
クラス修正	0	0	0	3	3	1	1
他修正							
能力値	3	2	8	10	12	3	3

HP	88
MP	122
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	アブソリュートスタッフ	至近	-1	8	0	0	0	0	0
左手									
頭部	アミュレットハット				-1	4			-3
胸部	パニッシュローブ				-1	6	-5		
補助	深紅の腕輪		1		-1	4	-1		
装身具	真理の書								
能力値			2	0	8	0	3	20	8
スキル									
その他									
総計(右)			2	8					
総計(左)					5	14	-3	20	5
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	12			12	+ 2 d
トラップ解除	2			2	+ 2 d
危険感知	12			12	+ 2 d
エネミー識別	10			10	+ 3 d
アイテム鑑定	10			10	+ 2 d
魔術判定	10		2	12	+ 3 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	2			2	+ d

所持品	
バックパック	┃野菜
万能薬	
万能薬	冒険者セット
万能薬	
	矢筒
	┃ミスリルの矢
ランチボックス	┃ミスリルの矢
┃野菜	┃ミスリルの矢
┃野菜	┃ミスリルの矢
┃野菜	┃ミスリルの矢
┃野菜	

現在重量: 8  
 最大重量: 15  
 所持金: 66271  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハイジャンプ	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 兎族、ムーブアクションでエンゲージを離脱しても、マイナーアクションを行うことができる								
マジシャンズマイト	5	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
ぶらいんどさいと	5		パッシヴ		自身			
効果: 識別に成功した相手に対してダメージに+SLD								
エンサイクロペティア	1							
効果:								
コンコーダンス	1							
効果:								
バイオロジィ: アンデッド	5							
効果: アンデッドに対してダメージ+20								
ブックマーク	3		セットアップ					
効果: バイオロジィの対象を変更								
リゼントメント	1						シナ1	
効果: ダメ+CL*10								
マジックフォージ	3						シーン1	
効果: ダメ+6D								
コンセントレイション	1							
効果: 魔術判定+1D								
ブーストマジック	1	5	マイナー					
効果: ダメージ+感知								
ラーニング: ハイドアウェイ	1	4	セットアップ					
効果: 隠密								
エンチャントウェポン閻	1							
効果:								
シャドウスフィア	1	12						
効果: 2D+20 閻 ダメージ与えると威圧								
マスターマジック	4							
効果: ダメージSL*5								

フードを被った少女。  
 かなりゆっくりとした、間延びした口調で話す。  
 幼く見えるが、年齢は不詳である。  
 時折虚空を見たり、誰もいない場所へ話しかけていたり、奇妙な言動が多くみられる。  
 また、独特の言葉遣いをするため、意思疎通にコツが求められる。  
 多くの知識を持っており、魔術も扱う。

「トトはねー、さむいのをちゃんとさむくしにきたんだねー。ダンジョンはねー、たくさん、いるからねー」  
 「んー、冒険者はみんな、ぼかぼかしてるんだねー。トトはねー、あったかくて、いいなーって思うんだねー。でも、ボグはちょっと、苦手みたいなんだねー」

【秘匿事項】  
 かつて、黒き神を崇める、黒き教団があった。  
 彼女はそこの教祖の娘として生まれた。  
 彼女の両親は、彼女を巫女として祀り、最後には彼女を神へと捧げた。  
 黒き神は不自然な死を告げた教団を許さなかった。  
 彼女の両親は黒き神の指先で命を失い、そして彼女は、黒き神の巫女として正しき安寧をもたらすために生きる事になる。  
 純粋だった彼女は黒き神を受け入れ、気に入られる。  
 彼女は黒き神への信仰と共に、自身の成長を捧げた。  
 彼女は黒き神の使者である。

「

